

取扱説明書

(ピンキス捌きスプーン)

スプーン周囲は刃付けしています。刃物鋼ではないため軽く触っただけで指を怪我するほどの鋭さはありませんが、キスの「腹部開き」や「頭落とし」は出来ます。スプーン先端は刃部を削り落として「腹出し」をする際にスプーンが背骨に引っ掛からないようにしています。スプーン軸は極太仕様を採用することで曲がらないようにしています。



【手順】

<腹切り>

キスの腹にスプーンで切れ目を入れます。コツは切り始めを腹部の柔らかいところから切らず、身がある硬いところから最初の切れ込みを入れます。具体的には、[肛門からスタート](#)して尻尾の方に切れ目を入れます。切れ目が一旦出来たら、Uターンして、切れ目を広げていく感じで頭の方に引き切りで刃部を往復させながら腹部の柔らかいところを開いてください。

注1) 切れ目がギザギザにならず綺麗に切れることが後処理で重要になります。

注2) スプーン刃は湾曲しているのでキスも若干湾曲させてやると綺麗に切れます。

<腹出し>

腹出しは、スプーンでキスの肛門付近から[頭方向に掻き出すだけ](#)で特にコツはありません。使っているうちにスプーンがハラワタで汚れていきますが、そのまま問題なく連続して使用できます。

<頭落とし>

腹出しで、ハラワタを頭側に寄せたまま、刃先をまな板の湾曲スリットに落としていきます。スプーンを[湾曲スリットに落としたまま](#)でキス頭を固定した状態で身側を引き抜いてください。そうすることで身の両端が切れ残っている場合でも難なく引き剥がすことが出来ます。

注1) 作業可能なキスサイズは、7cm～15cm程度です。(大きいキスには使えません)

注2) 快適に作業可能なキスサイズは、8cm～12cm程度です。(快速です)

【補足】

上記以外にも、いろんな方法があると思います。例えば、腹出しはせず頭落としだけを先にして、ハラワタを残したまま腹開きして、腹出ししないまま「ピンキスローラー(腹開き)」で腹開きしてから、最後にまとめて「キス水洗い器」でジャブジャブと数十匹をまとめて水洗いする場合などですが、かなり効率的に捌くことが出来ます。

キスを捌く過程の美しさは得られませんが、天ぷらになってしまえば関係ないとする人の場合は、いろんな効率的な捌き方があると思います。いろいろ試してみてください。

【動画】

動画は HP もしくは youtube(検索用語：domptime ピンキス捌きスプーン)で紹介しています。